

埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図) - 2015年7~9月期 -

調査対象：県内企業 569 社

調査方法：アンケート方式（8月上旬 郵送回収）

回答企業：293 社(回答率 51.5%)

業種別内訳：製造業 177 社 非製造業 116 社

概況

調査は8月14日までのもので、下旬の株価急落の影響は含んでいない。

今回の産業天気図は、雨が弱まり、微かに晴れ間が覗く曇り空となっている。全体的に需要が改善し、製造業を中心に業況が持ち直している。

製造業では、鉄鋼・非鉄金属は自動車が生産調整の影響を受けるなど「曇り一部雨」へ、印刷・同関連業は全体的に需要が低迷し「雨」へ各々後退している。一方、電子部品・デバイスはスマートフォン用部品を中心に堅調で、飲・食料品は猛暑から冷菓や麺類の需要が増加するなど「晴れ一部曇り」へ各々好転している。また、紙加工品等は売上増や一部で価格転嫁が進展、金属製品は内外で白物家電用部品需要が堅調なほか、工場設備の受注増が寄与し、電気・情報通信機器は半導体・IC測定機の受注改善等から、各々「曇り」へ持ち直している。

非製造業では、卸売が猛暑から冷凍・冷蔵用機器や建設資材で売上改善の動きが見られ「曇り」へ持ち直している。

先行きについては、晴間は消えるものの、雨も弱まり雲がさらに厚くなる見通しである。

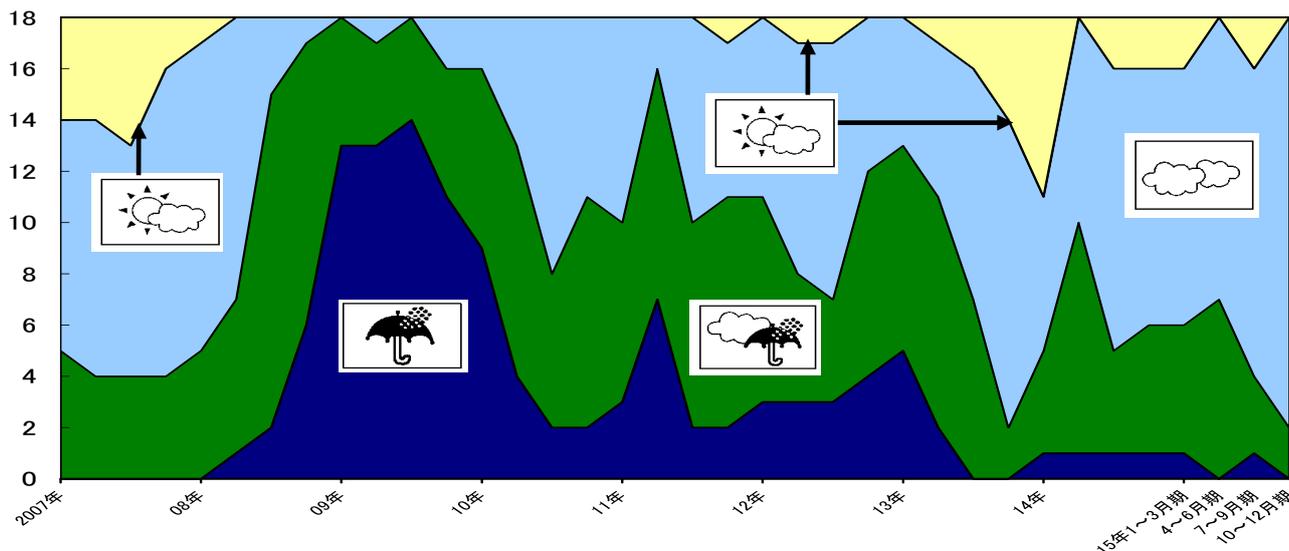
製造業では、電子部品・デバイスは中国のスマートフォン販売拡大の減速から需要が弱まると見られ、飲・食料品は原材料価格の高止まりや価格競争の激化から各々「曇り」へ後退する。一方、鉄鋼・非鉄金属は海外から国内生産の切り替えにより OA 機器部品で受注改善が期待されるなどから、輸送用機械はトラック用部品受注が好調なほか、乗用車用部品の生産調整が和らぐと見られ各々「曇り」へ、印刷・同関連業は年末需要等の受注増が期待されるなど「曇り一部雨」へ持ち直す見通しである。

天気図別の業種数

区分	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
2015年 4~6月期(前回)	0	0	11	7	0
2015年 7~9月期(今回)	0	2	12	3	1
2015年 10~12月期(先行き)	0	0	16	2	0

(業種数)

産業天気図



(注) 天気マークと BSI 基準の目安

天気マーク	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
BSI	100 以下~50 以上	50 未満~20 以上	20 未満~-20 超	-20 以下~-50 超	-50 以下~-100 以上